

アニメ ポケットモンスター新企画 (コードネーム:Verne) シリーズ構成案

最終更新日:2022/02/22

制作:ストーリーライダース/OLM

編集:TPC

これは、ポケモン世界全体を巡る冒険を通して成長する
少年と少女の物語――

伝説のポケモンと出会うことを願う少年・レイと
不思議な「ポケモンのたまご」を手にした少女・リコが、
トレジャーハンター集団「レジェンズ」と共に
ポケモンの楽園「ラクア」を目指すことになる・・・

1. 物語のキーとなる舞台・ラクア	1
2. あらすじ	2
3. 登場人物	2
4. 準備稿(#1・#2・#3)	7
5. シリーズ構成案(全体)	12

お読みいただく上での補足:

※従来のアニメ「ポケットモンスター」と同一の世界線で描く想定です。サトシ・ピカチュウやジムリーダー等の人物キャラの登場については、検討中となります。

※テキスト内の青字は2022年2月21日(月)のお打ち合わせにてTPCからお戻しし、並行して修正中の部分です。

※固有名詞(登場人物名、ラクア等のオリジナル名称)については仮名称となります。特に、レジェンズについては、ゲームタイトルとの被りが無くなるよう別名称の検討を進めております。

※本資料に記載しております、今作でキーとなる「リコの相棒ポケモン(たまごポケモン)」について、先日弊社曾羽経由でご提案いただきました「コダイガメ」をベースとした形に修正する方向で検討中です。ポケモンの楽園・ラクアやルシアスの設定等にも、並行して修正をかけておりますため、現段階ではご参考程度にご高覧くださいますと幸いです。情報管理面も合わせて、今後具体的なご相談をさせていただければと思います。

1. 物語のキーとなる舞台・ラクア

ポケモンの楽園。生命を司るポケモンの力を受けてゲンキノツボミやクスリソウのような植物が数多く生えており、それらを食べたことで長寿化したポケモンが住み着いている。現在どこにある島なのかについては誰も知らない。また、複数の強力なポケモンの力を借りなければ到達が困難な場所にあり、100年前に伝説の最強トレーナーと謳われたルシアスが初めて訪れた際には、生命を司るポケモンは既に姿を消し、島全体の生命力が衰えはじめていた。

2. あらすじ

カントー地方のとある沖合の島で育ったレイ、
伝説のポケモンに出会うことを夢見る男の子。

ある日、レイは海岸で謎のマークが付いた旗を拾う。
不思議に思いながらも、いつもの居場所である秘密基地に向かうと、
どこからかやってきたTitanほのお1を見つけた。
逃げるほのおを追いかけた先には謎の飛行船が着陸していたのだった。

そんな中、突然謎の組織・エクスプローラーズが謎のたまごを持つ少女・リコを襲う。
レイとTitanほのお1は意気投合してリコを救い出そうとするも、
更に追われてしまう。

騒動を聞いて駆け付けたトレジャーハンター集団・レジェンズのリーダーであるフリードとピカチュウに助けられたことをきっかけとして、レイの運命の歯車が回り出す！

3. 登場人物

3.1 主人公

- レイ
 - 出身地:カントー地方の沖合の島出身(オレンジ諸島？詳細検討中)
 - 年齢:12歳 ※シリーズ3年目冒頭で成長した姿(14歳程度)で登場。
 - 性別:男性
 - 背景・性格:
 - 小さな島育ちのため、外の世界を冒険して伝説のポケモンに出会うことに強く憧れている。周囲が少し大人びていく中、どうしても夢を捨てきれず、いつか冒険に出たいと考えている。
 - 曾祖父である島の長老から謎のモンスターボール(後に、伝説の最強トレーナー・ルシアスの手持ちポケモンが入っているボールであることが判明)を貰い大切に持っている。
 - 手持ちポケモン:Titan初期三のほのお1
- リコ
 - 出身地:ガラル地方出身(仮)
 - 年齢:13歳 ※シリーズ3年目冒頭で成長した姿(15歳程度)で登場。
 - 性別:女性
 - 背景・性格:

- 伝説の最強トレーナーであるルシアスの子孫(玄孫程度)という家系に生まれたことで、アイデンティティの部分で悩みながらも、最終的に過去の血筋や名誉に囚われない「大切な相棒ポケモンと一緒にいる今の自分」と向き合い成長する。
- 代々継がれているたまごからかえったポケモンと共に成長し、そのポケモンのルーツであるラクアを守る為に戦う。
- 手持ちポケモン:
 - たまごからかえったポケモン(後述)

3.2 ラクアにまつわる逸話の関連人物・ポケモン

- 伝説の最強トレーナー・ルシアス
 - 出身地:出身地方検討中
 - 年齢:80代? ※生死不明
 - 性別:男性
 - 背景・性格:
 - 100年前に当時最強のポケモントレーナーとして知られていた。
 - 旅の中で、強力な手持ちポケモンの力を借りて、ラクアにたどり着き、その地で初めての人間としてポケモンたちに受け入れられる。その中で、ポケモンのみが住む場所として人が立ち入ってはいけない場所だと悟り、以降、誰も辿り着かないようにするために噂話を流した。更に、自身が亡き後、邪な人間がラクアにたどり着かないよう、6匹の手持ちのポケモンを各地に隠した。
 - ポケモンには好かれやすいが、自由奔放な一匹狼であり人付き合いは余り得意ではなかった。
 - 手持ちポケモン:
 - ルシアスの大切なパートナー。それぞれのポケモンが過酷な環境での冒険を手助けする。
 - 『サン・ムーン』のぬしポケモンや『Pokémon LEGENDS アルセウス』のキングのような強さ・特別感を持った状態で主人公レイと対峙し、レイの生き様を認めて力を貸してくれるようになるイメージ。
 - 通常のポケモンから伝説のポケモンまでバランスよく配置。タイプや出身地方はばらつかせる。
 - 例:
 - レックウザ:バトル担当。どのような局面も跳ね返す力強さ。天変地異も特性エアロックにより回避していく。メガシンカも可能。
 - エンテイ:陸の移動や、火山地帯での冒険で活躍。弱いポケモンは炎を見ただけで逃げ出す。
- ※その他Titanポケモン等を物語の中で配置していく予定です。

- たまごポケモン(仮)

※大枠は下記のコンセプトをベースとしつつ、コダイガメにフィーチャーする形で演出家陣と修正予定です。

- 物語での活躍の仕方

- 100年前、ルシ阿斯がラクアから帰る際に自発的についできた。当時は、現代よりもポケモンと人が共存していない時代だったため、野生のポケモンからルシ阿斯を守る役割をした。守る際に体の一部もしくは全体を変化させ、その姿がマントやヴェールのように見えたことで逸話が広まった。
- その後、そのポケモンの子孫となるたまごが代々ルシ阿斯の子孫に引き継がれ、リコが屋根裏で発見した。たまごが孵化した後はルシ阿斯の際と同様に時にリコを守る役割を担う。

- ビジュアルの方向性(案)

- 視聴者視点で「たまごから何が生まれるのだろう？」という期待を作る。
- リコしか持たない特別感があり、リコの身体的成長と合わせて進化する。
- 各地方の奥地で強化したルシ阿斯のポケモンと向き合う際や、バトル時にリコをヴェール状に守ってくれる。
- リコと同様に女兒視聴者4〜6歳が魅力を感じるような入り口となる存在。

- 進化での形状変化(案)

- たね:より小動物的な可愛らしさに寄っている見た目
 - まだ生命力の力はいまうまく使えず、マント状・ヴェール状の部分も大きくは広げられない。
- 1進化:ルシ阿斯がともにいた状態。美しさと可愛らしさを兼ね備えた見た目。生命力の力を使いこなし、マント状・ヴェール状の部分を大きく広げることができる。その大きさから遠目に見ると大天使の羽のように見えることも

3.3 トレジャーハンター集団・レジェンズ

「自由」をモットーに、職歴や身分を問わず、誰もが乗って冒険というロマンに旅立てるトレジャーハンター集団。探して見つけるスタイルを突き通し、そこでは自分探しのために乗る者もいれば、ポケモンの知られざる一面を知るために乗る者もいる。「失敗したって、やり直せばいい(資金援助なく、考古学的に冒険しているので失敗はつきもの)。そんなことでへこたれてたら始まらない。恐れず、迷わず突き進め！」が生き様の、誰もが認めてもらえる場所(フーテンのアウトサイダー集団的なイメージ)。

リーダーのフリードに加えて、メカニック(女性)、ジョーイ(女性)、料理人(男性)が初期メンバーとして登場し、その後もシリーズを追って行く中で新たに追加される予定。全体の構成員のバランスとしては、性別年齢が様々な多様性溢れる組織としていく。

※年齢のばらつきや手持ちポケモン候補については修正中です。肌の色・人種にもばらつきを持たせる予定です。

- フリード

- 出身地:カントー地方出身
- 年齢:20代
- 性別:男性
- 職業:トレジャーハンター
- 背景・性格:

- 乗組員全員に慕われているレジェンズのリーダー。表向きは、各地の遺跡を巡って遺跡を研究したり貴重なアイテムを探し、生計を立てている。実は、生き別れになった兄を探しているが周りのメンバーには打ち明けていない。
 - 物語の後半、生き別れになった兄を取り戻すためにレイ・リコ・レジェンズメンバーを裏切って、エクスプローラーズ側に入り、レイ・リコと対峙していく。
 - 手持ちポケモン候補:ピカチュウ(師匠のような振舞いをする)、リザードン
- オリオ
 - 出身地:ハウエン地方
 - 年齢:18歳
 - 性別:女性
 - 職業:メカニック
 - 担当タイプ:はがね・エスパー
 - 背景・性格:
 - 船の整備を担当する、ちゃきちゃきで派手なお姉さん。油の臭いが大好き。暇なときは電子回路の光を眺め、「美しい」と恍惚の表情を浮かべて過ごす。
 - 整備士としての腕は超一流で、みんなの家である飛行船を護ることを第一と考え、日々船内のメンテナンスにあたっている。
 - 変人のように見えるが、暴走しがちなフリードを止める役割を担い、時には厳しいことも言う。仲間想いで涙もろい一面もある。メンバーから慕われ、リコも同性として憧れるようになる。
 - 手持ちポケモン候補:メタグロスorダンバル、エレキブルorエレキッド
- ジョーイ
 - 出身地:イッシュ地方
 - 年齢:25歳
 - 性別:女性
 - 職業:ジョーイ
 - 担当タイプ:ノーマル
 - 背景・性格:
 - 人付き合いが苦手で、一般的なジョーイさんみたいにはうまく笑えない不器用な女の子。普段は物静かだが、傷ついたポケモンのためなら危険を顧みずに飛び込んでいく。
 - ジョーイー族に生まれ、将来はポケモンセンターで働くことが決まっているが、旅するトレーナーに憧れてレジェンズに乗船。船内のポケモン回復装置を使える唯一の存在で、人のケガの治療なども軽傷であれば可能。
 - ピンクの髪がトレードマーク。白衣は着たがらず、ライダーズジャケットなど反骨心に見える服を愛用。
 - 手持ちポケモン候補:タブンネ、ハピナス
- マードッグ
 - 出身地:シンオウ地方
 - 年齢:40歳

- 性別: 男性
- 職業: 料理人
- 担当タイプ: むし
- 背景・性格:
 - 心優しい力持ちの巨漢のおじさん。鍛え抜かれた黒光りする筋肉と、ヒゲ面に浮かぶ柔和な笑顔。船で発生する力仕事などはお手の物だが、料理人としての顔も持つ。
 - ビジュアルに似合わずポケモン用の繊細な料理が得意。日々ポケモンが何を好むのか研究していて、お宝として、どこかに生息していると言われる“どんなポケモンも愛されると言われる珍味(トリュフ、フォアグラ的な食材)”を探すためにこの冒険の船に乗った。
- 手持ちポケモン候補: ミツハニー、コマタナ

3.4 ライバル組織・エクスプローラーズ

パワフルなポケモンたちが集うラクアにたどり着くため、リコの持ったまごポケモンを追いまわし、レジエンズの邪魔をするライバルトレジャーハンター集団。「規律正しく、能率よく物事をこなす」ことが求められ、「自由より能率(規律)」「厳選された人材」「冒険より現実」という、レジエンズとは真逆の性質を持つ(これは自由な振る舞いをするルシナスに対するエルドラの反発心の現れ)。キャラクター性としては、ロケット団的な毎度出てくる愛嬌のある敵キャラではなく、ややシリアスな敵である。

- エルドラ(仮)
 - 出身地: [検討中](#)
 - 年齢: 80代
 - 性別: 男性
 - 背景・性格:
 - 姿を見た者は誰もおらず、部下には壁越し(パネル越し等)で命令を出す(チャーリーズ・エンジェルのチャーリー)。
 - 実は、ルシナスとエルドラは若い頃同じ冒険者だった。エルドラは過去の伝記からラクアの存在を知り、ルシナスを冒険へと誘った。たどり着くのに必要な6匹のポケモンはエルドラに心を開かなかったため、最終的にルシナスの手持ちポケモンとなった。それにより、エルドラはラクアに辿りつけず、ルシナスが先を越してしまった。当時のルシナスへの羨望と嫉妬心から、エルドラは自分自身もラクアにたどり着くことを夢見ている。
 - ポケモンには愛されなかったものの、人間付き合いが上手かった。伝説や伝記、噂が勝手に一人歩きし、ルシナスを伝説の最強トレーナーたらしめているが、本当のルシナス像を知っているのはエルドラのみである。
 - ラクアに関してはここ数十年にわたり、部下にずっと探させてきた。やはり見つかる気配がないので、あきらめかけていたが、同じく探しているレジエンズの動向も探ってきた中で、リコのたまごの存在を知り、一縷の希望を抱

いて彼らを追いかけるようになった。

- その他メンバー

- 検討中。エルドラの息子、フリードの兄、博士等を想定。候補が固まり次第、手持ちポケモンの候補を決めていく。

4. 準備稿(#1・#2・#3)

#1

○アヴァン

嵐の中。レジェンズの船。悪天候状況を利用して接近してきた飛行タイプのポケモンにのったエクスポローラーズの強襲。レジェンズとエクスポローラーズの闘い。互いのポケモンが強力な技をくりだして闘う様子。トレーナーとポケモン同士の戦い。すきをついてエクスポローラーズ狙うのは、リコとタマゴ(この時点では詳細は不明)。リコが緊張の面持ちでたまごを胸に抱く。そばで船を操舵するフリードが言う。「安心しろ。おまえもその子も、必ず守ってやる」そして、フリードとメンバーたちの活躍で、その場をしのご。が、攻撃の中でレジェンズの旗に落雷。折れて旗が、飛んでいく…。

○Aパート

カントー。沖合のとある島の1つ。嵐が去った後の美しい空と静かな海。砂浜に続く家を出るレイ。元気いっぱいでも長老にあいさつ(レイは長老の曾孫)。そして、浜辺を歩く。拾った石を軽く海へと投げる。すると素晴らしいコントロールで水面を水切りしてゆく(トレーナーとしての将来へ予感)。いつも嵐のあとには、何か面白いものが漂着しているので、探しているレイ。砂浜で発見する何かの布きれ。レジェンズの旗。気になってポケットにしまう。

そんなレイに授業開始のメッセージが端末に届く。小さな島では、オンラインをつかった授業が当たり前。なので、映像をオフにしていたら、どこにいても出席扱いなので、いつも島を探検しながらレイはオンライン授業に出ていた。オンラインの同級生たちとボイス・チャットで合流。彼らは、それぞれモンスターボールで手に入れた最初のポケモンについて話していた。野生で捕まえた者、親からプレゼントされた者、さまざまだが、レイはその様子を羨ましそうに聞いていた。そんなレイはゲット未経験。島にはフレンドリショップがないから仕方ないよとなぐさめる同級生。この小さな島では、確かにフレンドリショップはない。でも、ポケモンたちと自然に共に暮らしているので、レイだけでなく島民たちもモンスターボールを使っていない。レイは、オンラインでいろいろな情報も知っている、ポケモンの知識は詳しいし、トレーナーのことは知っているが、ボールをつかったことはない。オンラインの友だちは、それぞれ目標を語る。「俺はジムを制覇したい(カントーの子?)」「私はヌシを倒しに行く(アローラの子?)」「レイは?」と友人に問われると「まだわからないんだ」とレイ。でも、本当の理由は、ただの優柔不断(周囲からは思われている)ではなく夢がある。いつか最強のポケモンと過酷で危険な冒険の旅に出る…。と語るが、そんなの夢物語だとオンラインの友人たちから笑われる。けど…、レイは信じていた。そんなレイが、手にしているのは石ころのようだが、「いにしへのモンスターボール」と自分で名づけた、長老からもらった宝物。中身は空っぽだし、壊れているのか開きもしないけど、いつか伝説のポケモンをゲットする為の大事な「いにしへのモンスターボール」である。

レイ、今日も浜辺でみつけた宝物を自分だけの秘密基地へしまうために山へとむかう。「いにしへのモンスターボール」を投げると凄いコントロールで、木の実を落とす。そして、回転をつけて木の枝から跳ね返るとレイの手にもどる凄い技。そして、森の秘密基地へ。すると、ガラガラ声の歌が聞こえる。驚きつつ秘密基地へ。みると大切に隠していたお菓子やオモチャが、あらされていた。怒るレイ。誰の仕業だ。と、そこには足跡。と、そこで出会うのは、みたことのないポケモン(Titanほのお1)お菓子を食べて上機嫌で歌っていた。おこって、おいかけるレイ。あわてて逃げるTitanほのお1。と、逃げた先。島の反対側にある絶壁に出る。あやうく落ちそうになるTitanほのお1。あぶない。と、ピンチのTitanほのお1を自分の危険も気にせずに助けたレイ。はじめてレイが、Titanほのお1を抱きしめる。と、その視線の先、みたことのないレジェンズの船が停泊していた。その船体には、拾った旗と同じマークがみえた。

○Bパート

レジェンズの船。昨日の嵐とエクスプローラーズとの闘いで故障していた。その故障を直しているメンバー。バタバタの船内。そんな船内で大騒ぎをしているポケモンたち(新御三家以外のタイタンTitanほのお1たちもいる)。指揮をしているメカニック。そこにあわててリコが、Titanほのお1が、いなくなったと。仕事として頼まれ新地方まで届ける約束をしていたポケモンたちの中で、一番ののんびり屋がいない。残っているポケモンたちも心配している。どこにいったのかを探すリコとメンバーたち。実は、今朝、つまみ食いをしていたTitanほのお1を怒ったらすねていたらしいと情報をつかむ。リコが、フリードに報告しなきゃというが、島の長老のところへでかけたメカニックがいう。フリードは、飛行船のエンジン出力を回復する為に必要なポケモン(例えば鉱物系や無生物系のポケモンなど一考)について話をきく為に留守。必要なポケモンを持っている島のポケモントレーナーを紹介してもらう。または島にいるなら生息場所をきくなど。リコたちが探しに行くしかない。

その頃、フリードは浜辺の村で必要なポケモンについて、島の人に相談していた。すると、この島にポケモントレーナーはいない。しかし、ポケモンと島民は助け合って共存しているときく。感心するフリード。しかし、困った。そこにあらわれた長老。

一方、レイとTitanほのお1。レイは、この島ではみたことのないTitanほのお1がああ船からきたのでは、考えてわくわくする。そこに現れたのは、リコ。Titanほのお1を探している。しかし、Titanほのお1は、レイを促して、その場から逃げようとする。どうやら、リコに見つかりたくないのか。レイとTitanほのお1の交流。レイは、ダミ声だけど良い歌だという。するといい気分になったTitanほのお1が歌う。どこからきたのかわからないTitanほのお1に島の外に出たことがないと話しかけるレイ。みたことのない場所にいきたいんだと。そして、一番の宝物である「いにしへのモンスターボール」をみせる。みんなは信じてくれないけど…。と、その話を聞いたTitanほのお1。信じてくれたのか、うなずく。次の瞬間、その上空にエクスプローラーズの水上演習機が旋回(ポケモンライドに変更予定)。見つからないように逃げるTitanほのお1。意味もわからず、追いかけるレイ。

その頃、森の中でリコ。エクスプローラーズに見つかっていた。ピンチ。その姿を発見したレイとTitanほのお1は、互いの目配せして、リコをなんとか助けようとする。そのコンビネーション。リコを捕まえようとしていたエクスプローラーズのメンバーを翻弄。しかし、エクスプローラーズの別部隊も登場。多勢に無勢で、リコとレイが捕まってしまう。

捕まった2人の対話。島のひとじゃないリコに興味津々のレイ。リコ、助けてくれたレイに感謝。でも、助けられてないとレイ。自分はまだまだだとレイ。捕まえに来たエクスプローラーズが、何者かをきくレイ。リコは、自分たちと同じ宝をねらっている情報を横取りしようとしているヤツらと話す。するとレイ。リコたちが、宝を探しているトレジャーハンターたちであることをきいて、感激。そんな場合じゃないとリコ。

一方、なんとか捕まらなかったTitanほのお1。にげてしまいたいのだが、葛藤の脳裏。絶壁で助けられ、歌をほめてくれたレイ。そして、探しにきてくれたリコ。そして、にげない決断。…だが、エクスプローラーズの1人が、カントーでは珍しいTitanほのお1を発見して、捕まえようとするがあばれて混乱。その隙をみて、なんとかレイとリコが協力して脱出するが、Titanほのお1も一緒にエクスプローラーズたちに囲まれてしまう。と、そこに現れたのは、フリード。その姿をみて驚くエクスプローラーズ。そして、喜ぶリコ。フリードがくりだすポケモン。その勇姿。そして、華麗なバトルで、エクスプローラーズを次々と撃退。そんな姿をみて、レイは、自分が空想していた英雄の姿をみたような気持ち。はじめてトレーナーとポケモンのバトルを生でみたレイの感動。フリードは、リコとTitanほのお1を助けた。そして、レイは、トレジャーハンターさんですね。ぼくも一緒にきたいです、と、勇気を出して宣言。Titanほのお1とリコが驚く。すると、フリード、残念だけど、ダメだと、断る。ひとりのこされて、呆然とするレイ。

その夜。眠れないレイ。妄想していた冒険の始まり。何か起こる予感。ここであきらめたら、このまま朝になって、いつも通りの生活が始まる。イヤだ。家を抜け出すレイ。自分で動き出す時がきた。フリードに、Titanほのお1に、もう一度、あいたい！ 岸壁に停泊しているレジェンズの船へと密航を試みるレイ。すると、なぜか「いにしえのモンスターボール」が光り出す。「いにしえのモンスターボール」が、導いてくれたと目を輝かせるレイ。

つづく。

#2

○アヴェン

前話のつづき。夜。レジェンズの船に密航を試みたレイ。どうやらボールは船の方に反応している。こっそり潜入、反応を辿っていく。だが、すぐ師匠ピカチュウにみつかってしまう。レイと師匠ピカチュウで一悶着(これまでのピカチュウとは違う感じを出す)。

○Aパート

ねむっていたリコ。歌が聞こえてくる…。それはTitanほのお1が歌う少し寂しそうなダミ声の歌。それはレイがほめてくれた歌。そんなTitanほのお1に話しかけるリコ。いままで誰にもなつかなかったTitanほのお1がレイと一緒に助けに来た時のことを思い出して、Titanほのお1もレイのことを思い出しているのかな。すると、リコと一緒にいるタマゴに反応が。驚くリコ。そこに師匠ピカチュウの電撃を放った音が。何がおこった？

一方、師匠ピカチュウの電撃をあびて気絶したレイ。なにごとだとメンバーたちやポケモンも現れる。レイは、トレジャーハンターへの想いを熱く語るが、迷惑そうなレジェンズのメンバーたち。追い返される……とおもった時にあらわれたリコ。彼女の抱えたタマゴが、みたことのない反応(輝きなど)をしている。レイのボールとタマゴが共鳴していた。これは一体？ そこに現れたフリードは、タマゴとボールの反応をみて興味を持つ(レイは気づいていない)。ダメだといった筈だ、とフリード。するとレイ、どうしても冒険の旅に出たい、と「いにしへのモンスターボール」を手にして、再び宣言。するとTitanほのお1が、まるでかばうようにレイとフリードの間にわってはいる。だが、フリードもメンバーたちもだめだという。そして、フリード、朝になったら、長老のところに一緒に行くぞ、と言われる。ド叱られる…と、がっくりするレイ。とTitanほのお1。

その夜、レイとリコの対話。レイの無謀な夢は、「全ての伝説のポケモンにであった男」の持っていた「いにしへのモンスターボール」と冒険にでること。誰も信じてくれなくても、この「いにしへのモンスターボール」が導いてくれると信じているという。するとタマゴを大事そうに抱いたリコ、わたしも信じている。お伽噺は嘘じゃないと。すると、レイが、Titanほのお1にもう一度、あの歌を聴かせてほしいとたのむ。月夜の甲板でTitanほのお1が歌う…。

○Bパート

翌朝。朝陽がのぼる。船のメンバーたちが見送る中、フリードとともに連行されるレイ。するとリコ。いつのまにかTitanほのお1が、またいないことに気づく。倉庫で食べ物でもつまみ食いしているのか。

浜辺。長老の家。怒られる覚悟をしていたレイ。すると、そこに長老がフリードの必要なポケモンをよんでくれていた。このポケモンの力があれば、飛行船が飛ぶことが出来ると感謝するフリード。…実は、こそこそとついてきていたTitanほのお1。が、何か(エクスプローラーズ)を発見。驚いて、フリードに知らせるために長老の家へ飛び込む。ついてきたTitanほのお1の姿に驚くフリード。喜ぶレイ。そんな姿をみて、目を細める長老。するとTitanほのお1はあわてて、何かを伝えようとしている。

その頃、エクスプローラーズが、飛行船団から出撃。ライドポケモンにのって捜索をしている。まだ飛ぶことの出来ないレジェンズの船がみつかってしまうのは、時間の問題…。

長老の家。そこに荒々しく、やってきたのはエクスプローラーズ。Titanほのお1と隠れたフリード。エクスプローラーズは、レジェンズたちの捜索をしているという。情報をくれれば、物資を与えると申し出るが、そんな連中は知らないし、施しは受けないと長老とレイ。その隙に家をでたフリード。今、襲われたら修理が終わっていない船があぶない。するとフリードは、こわがっているTitanほのお1に危険だから、ここで隠れているという。そして、ポケモンにライドして向かうフリード。…と、島の反対側が爆発。

一方、レジェンズの船。エクスプローラーズに発見されていた。彼らのポケモンたちに攻撃される。まだ飛行することが出来ない船。このままでは、にげることも闘うこともではない。闘いに巻き込まれるリコとポケモンたち。メカニックたちメンバーが、なんとかポケモンで応戦。しかし、今回は多勢であり、リコとタマゴが狙われる。と、そこにあらわれたのは、ポケモンにライドしたフリード。エクスプローラーズの放つポケモンたちとの闘い。

その頃、長老の家。レイは、レジエンズの飛行船が飛ぶ為に必要なポケモンを自分が届けると決意。あぶないと長老がとめるのをきかずに船へとむかおうと出ていく。と、そこにはTitanほのお1が隠れていた。気づくレイ。フリードたちを助ける為にむかうことをきいたTitanほのお1。強がっているレイだが、こわがっていることと気づき。ふるいたつTitanほのお1。レイのあとに続く。闘いの場になってしまった島をゆく、レイとTitanほのお1。長老からあずかったポケモンを届けるためにがむしやらに走る。

停泊しているレジエンズの船は襲われている。と、闘いの中であらわれたレイとTitanほのお1。驚くリコ。しかし、エクスプローラーズのポケモンに襲われるレイとTitanほのお1。ピンチ。するとレイとTitanほのお1が火事場の馬鹿力的なコンビネーションで、なんとトレーナーでもないレイと一緒にいたTitanほのお1が、今まで出したことのない技を放つ…！

つづく。

#3

○Aヴァン

前話のつづき。闘いの中であらわれたレイとTitanほのお1が放つ新たな技。その技にやられるエクスプローラーズのポケモン。その姿に驚くリコ。レイとTitanほのお1は、自分たちでも驚く。いままでTitanほのお1が覚えていなかった技が、レイということで放つことが出来た。そして、レイとTitanほのお1は、長老からあずかったポケモンを届けた。よろこぶメカニック。レジエンズの船のエンジンが始動を開始。なんとか、飛行することが出来たレジエンズの船。

○Aパート

だが、エクスプローラーズの船が、まだ完璧ではないレジエンズの船を攻撃する。すると、フリードは、みずからのポケモンと、エクスプローラーズ船団の旗船へと乗船し強襲をしかける。凄まじい戦闘力でフリードのポケモンは、旗船を破壊すると墜落させる。みたかとフリード。すると師匠ピカチュウが、レジエンズの船がピンチだと指し示す。しまった。

しかし、その頃、レジエンズの船へと強襲をしかけてきたエクスプローラーズ。彼らの目的は、リコの持つタマゴである。その攻撃の中で、レイはリコたちと行動を共にする。ポケモンたちとにげまわる船内。と、その時、まだ本調子ではないエンジン部分にエクスプローラーズのポケモンが放つ攻撃が命中。大きく破損したレジエンズの船は、黒煙を放ちながら、海面へと不時着することに…。フリードが、不時着したレジエンズへと向かう。再び修理を急ぐレジエンズのメカニック。手伝うポケモンたちとメンバー。パニックだが、なんとか再始動することを目指す。

そして、リコはタマゴをかかえて甲板にいた。そんなリコたちにむけて、エクスプローラーズが率いるポケモンによる不可抗力の攻撃が襲う。リコとタマゴを直撃か…。すると、レイがあぶないと思わずリコのもとへと走り出す。が、間に合わずに大爆発。

○Bパート

レジェンズの船、甲板。リコとレイたちを襲った攻撃で発生した黒煙。それを目撃したフリードの絶望…。

次の瞬間、黒煙の向こうに輝きが発生。驚くフリードたち。と、そこには、レイが握っていた「いにしえのモンスターボール」から出現した「ルシアスのポケモン①」！ その勇姿。レイたちを襲った攻撃は、「ルシアスのポケモン①」の力で跳ね返していた。驚くフリード。リコ。その「ルシアスのポケモン①」は、レイとリコたちが襲われた攻撃に反応して長い眠りから覚醒したのだ。レイ自身も驚く。空っぽじゃなかった！

浜辺では、着水したレジェンズの船を心配していた島の人たちと長老。すると、そこに出現した「ルシアスのポケモン①」の姿をみて、驚く。すると長老が、あれは「ルシアスのポケモン」か。言い伝えは真実だった…、と謎の言葉をつぶやく。

その「ルシアスのポケモン①」の姿をみたエクスプローラーズの驚き。そして、攻撃をうけると次々と被弾する船団。恐ろしい「ルシアスのポケモン①」の攻撃によって、エクスプローラーズたちは、あえなく撤退。レイがもっていた「ルシアスのポケモン①」が、エクスプローラーズの襲撃を退けさせた。レイは、再び「いにしえのモンスターボール」へともどそうとする。だが、「ルシアスのポケモン①」は、まったく反応せずにどこかへと飛び去ってしまった。残ったのは、中身が空になった「いにしえのモンスターボール」だけ…。呆然とするレイ。ただ飛び去ってゆく「ルシアスのポケモン①」を見送るレジェンズのメンバーたち。レイとTitanほのお1に感謝するリコ。フリードとメンバーたち。

時間経過。再び長老の家。フリードが、借りたポケモンを返しに来た。するとフリードは、長老にレイを課外研修の名目で一緒につれていく許可が欲しいと頼む。ビックリしたレイ。レイが、島生活で外の世界をみてみたいと夢んでいたことをしていた長老。そして、「ルシアスのポケモン」が目覚めたことをみた長老。フリードがそういうなら、と旅立つ許可。かつて、同じように旅立ったのが、レイの父親だったと語る。そして、もどらなかった。すると、中身の空になった「いにしえのモンスターボール」を持つレイは、必ず「ルシアスのポケモン①」と一緒にもどってきますと告げる。

修理を終えて出航準備の完了したレジェンズの船。あらわれたレイをむかえてくれるTitanほのお1とレジェンズたち。ポケットにいれっぱなしだった旗をフリードにかえすレイ。するとフリードは、レイに旗をつけてくれとたのむ。再び、たなびく旗。そして、旅立ちの時間。そこに現れた島の人々と友達たち。彼らとの別れ。レイのことを応援してくれる。バカにされていたのではなかった。お前すげーよ！ がんばれよ、と見送ってくれる。そんな島民たちと長老の姿が小さくなっていく…。そして、レイの冒険がはじまる。「いにしえのモンスターボール」が導いてくれたと目を輝かせる。

その頃、エクスプローラーズからの報告をうけた本部のリーダー。リコとタマゴの反応。そして、「ルシアスのポケモン①」の出現をきき、彼らの行方を追えという。

つづく。

5. シリーズ構成案(全体)

※「リコの相棒ポケモン(たまごポケモン)」について、「コダイガメ」をベースとした形に修正する方向で検討中のため、下記の流れについては大幅に変更が入る可能性があります。現段階ではご参考程度にご高覧くださいますと幸いです。

#1

- ・レジェンズ登場
- ・エクスプローラーズとの戦い
- ・レイはリコ、Titanほのお1との出会い

#2

- ・レイの密航
- ・フリードとエクスプローラーズとの戦い
- ・レイTitanほのお1ゲット

#3

- ・ルシアスのポケモン①登場
- ・レイの旅立ち

#4以降

4話 レイ 最初のポケモンバトルと リコとの交流 図鑑のゲット

- ・レジェンズの船上で、レイとTitanほのお1が初のポケモンバトルに挑む。(Titanほのお1はレイの手持ちになっている)
- ・相手はレジェンズのメンバーのひとり(メカニックのお姉さん)が、フリードから頼まれて相手をする。
- ・弱すぎるレイ。師匠ピカチュウとリコから特訓を受けることに。
- ・トレーナー経験のないレイを、リコが先輩として引っ張っていく
- ・ポケモンゲットの基本についても説明(弱らせてボールを投げてゲット)
- ・リコはリコで自分がお荷物であることを気にしていた。(船に乗ったのはレイの少し前)
- ・いざこざはありつつも共にがんばろう！ となるふたり。
- ・そしてメカニックと再戦。勝負には負けたものの、いいところを見せる。
- ・悔しがるレイにメカニックがポケモン図鑑をもらう。メンバーとして認められたんだね、とリコ。
- ・そして、船の行く手にTitan地方が見えてくる。Titan地方はメカニックの出身地だった。

5〜8話 Titan地方編その1 リコの相棒ポケモン レイとリコの絆

- ・Titan地方にやってきたレジェンズ一行。
目的はルシポケ①レックウザと、ルシアスポケモンの調査
- ・リコが相棒のポケモンを見つける(初期三草)。
- ・レジェンズ・メンバー紹介
メンバーそれぞれのキャラ立ち。毎回、別のメンバーにくっついていくレイとリコ。
異文化交流的な話も
- ・レイとリコ、それぞれはまだ力不足だが、協力して戦うことで成長を示す。ふたりで一人前だな

……と認められる。

- ・エクスプローラーズ側の新人があらわれ対立。以後ライバル関係となっていく。
新人はレイとリコのような男女ペア。男はレイと正反対のクールで才能を持つタイプ。
- ・宝化の存在を見せる。レイがまぐれで一度使う。(後にリコやフリードも使用)
- ・初期三水がレジエンズに自分から乗り込んで旅を共にするようになる。

9～12話 ガラル地方編 ルシアスの伝承を探す

※Titan→ガラルへと移動

- ・リコの過去話
タマゴとの出会い。リコには、夢できく子守歌がある。
その謎をとく鍵となる歌が、レイが知っていたお伽噺と繋がる部分を発見。
リコの故郷、ガラル地方の、とある場所を思いつくリコ。
- ・ガラル地方へと向かう一行。
- ・エクスプローラーズの活動と対立
ライバルの男女ペアのエクスプローラーズが再登場
レイとリコが共闘で撃退
レイたちを甘くみていたエクスプローラーズは一時撤退。
- ・ルシアスの伝説が、あらためて語られる。
歌の謎から、ガラル地方にもルシアスが訪れていた事が分かる。
ルシアスの伝説はただのおとぎ話じゃない！ と目を輝かせるレイ。
- ・ガラル地方の有名人(キバナなど)との交流

13話 ルシアスのポケモン①を追う

※ひきつづきガラル地方で、ルシアスポケモン①レックウザの居場所をつきとめ、ゲットに向かう。
だが、現在のレイとリコの実力でゲットはできず、レックウザは空の彼方へ飛び去っていく。
未熟さを感じるレイ。
その際、レックウザはエクスプローラーズからリコやレイたちを助けるなど、少し歩み寄りを見せる。
ルシアスポケモン②(仮にラプラスとします)の情報を手に入れ、そちらへ向かうことに

(補足)

- ・この後は5～10話程度で各地方をめぐる話を展開。
Columbusのように各話で自由に言ったり来たりではない、リアルな地理感・移動感を大切にしたいロードムービー感を出す。
- ・それぞれの地方で出身のレジエンズ・メンバーの話をいれる。
- ・また地方ごとに異なるルシアスの英雄譚が、開示される。中には恐ろしい話もある。(ルシアスがラクアに近づけないためにまいたニセのウワサ)
- ・さまざまな過去作の人気ポケモンたちが登場。
- ・各地方の滞在時間を延ばし、急なトラブル
- ・お金がなくなってバイトするなどのサイドストーリーも入れ込んでいく。

14話～24話 各地方を巡る話

- ・地方は検討中。

25話～26話 エクスプローラーズとの闘いが本格化。

- ・レイとリコの共闘、成長を描く。仲違いもありつつ、いい相棒感が生まれる

- ・ルシアスの英雄譚についての話も改めて語られる。
- ・リコとレイの共闘によって、ルシアスポケモン②(ラプラス)をゲット
バトルで手に入れようとするエクスプローラーズだが、レイとリコはバトル以外の方法で手に入れる。(ラプラスなら歌とか、人語を介すので対話とか)
※フリードは泳げないので、ここでは役立たず
※手に入っても、ルシアスポケモンは自分の意思で動くので言うことを聞かない。レイのポケモンではなく、ルシアスのポケモンのままである。
ラプラスなら、移動手段としては手伝ってくれてもバトルは手を貸してくれないとか。

27話～39話 各地方を巡る話

- ・地方は検討中。
- ・引きつづき、ルシアスポケモンを追うレジエンズ
- ・ルシアスのダークサイドを知る(というのは、ルシアスがばらまいたデマだった)
- ・ルシアスポケモン③(例えばブリムオン?)を追うが、先にライバル男女に出し抜かれてしまう。
※エクスプローラーズが先に見つけ奪われたものを取り返すなど、目先を変えた展開。
- ・エクスプローラーズを追うレジエンズ
- ・旅立ったレイの父親との交流
- ・レイの相棒ポケモンの進化
- ・39話付近でルシアスポケモン③をエクスプローラーズから取り返す
ルシアスのダークサイドを信じたエクスプローラーズと、信じなかったレイという構造が見せられると良い。
- ・リコのタマゴが孵化する。ここからリコと孵化ポケモンの絆が深まっていく。(この時点ではまだ仲良くない)
- ・ルシアスのポケモンがラクアへと通じる道であると分かる。(全部で六体いることも)
- ※Titan地方で、ルシアスのストーリーが一旦途切れるので、一段落させておく。

40話～(長さは一考) Titan地方編その2

- ・あらためて、Titan地方での冒険。
- ・ゲームストーリーとのリンク。学校、土地、ヌシ、人物とのニアミスなど。
- ・新地方でのヌシとの闘いや、メカニックの過去が語られる。
- ※Titanとルシアスのポケモンの話は切り離す。

50話付近

レイとリコ、3話、13話～であらわれたルシアスポケモン①(レックウザ)とニアミス。
エクスプローラーズの目的がラクアであり、リコのタマゴがその鍵であること
リコがラクアにルーツがあることが分かる。

2年目

前半クール

- ・ルシアスのポケモンを探す冒険(残り3)
3話で登場したルシアスポケモン①(レックウザ)は最後にゲットする一体となる。
それまでも視聴者に忘れられないように度々登場させる。
- ・エクスプローラーズ、ライバル男女と一時協力(遭難とか協力せざるを得ないシチュエーション)

し、相手の人間性が分かる。

- ・ラクアの断片的な情報が分かる

生命力の源である。

ルシアスがラクアを隠そうとしていたこと、人間が気軽に手に入れてはいけないものが眠っている。(エクスプローラーズはそれを狙っているらしい)

後半クール

- ・リコ(の持つタマゴ)へのエクスプローラーズの攻撃が激化。

ラクアの所在と、ルシアスのポケモンの力が必要だと判明。

- ・エクスプローラーズ側の事情が分かる

エクスプローラーズ主要人物それぞれのエクスプローラーズに協力する理由。

(ラクアの力で、病気の妹を救うためとかの理由)

- ・エクスプローラーズよりも先にラクアに行かなければならない！ となる

- ・最後のルシアスポケモン①(レックウザ)をゲット

- ・ルシポケ六体がそろったタイミングで、フリードがルシポケ5体(レックウザ以外)を持って離脱。

師匠ピカチュウは置いていかれる。

裏切ったと思うメンバー、何か理由があるはずだと信じているメンバー(レイ)きっと、エクスプローラーズからレジエンズを守ろうとしたんだ(狙われる理由がなくなるので)

※ここではまだ、エクスプローラーズに渡ったとは思っていない。

- ・ラクアへの道を切り開く手段(ルシアスのポケモン)が失われたため、別の手段(違うポケモンや、これまで出会った人々の助力)でラクアを目指す。

- ・トレジャーハント、メンバー掘り下げ回、単発エピソードなど

3年目

- ・数年後 レイとリコの肉体的成長(キャラデザ変更)

- ・ラクアへの道が開けるのは数年に一度(エルニーニョ的な異常気象や、偏西風的な自然現象や、ポケモンの大移動など理由は一考)。

このタイミングをレジエンズもエクスプローラーズも待っていた。

- ・ラクアを目指す一同の前に、ルシアスのポケモン(をつかうエクスプローラーズ幹部)が立ちほかかる。

- ・フリードがエクスプローラー側についた事が判明。ショックのレイとリコ。

人か、ポケモンか、という究極の選択でフリードは「人」を選びエクスプローラーズについた

- ・一方、エクスプローラーズの中にはレイたちレジエンズ側に与する者もいる。

- ・エクスプローラー側の話 エルドラの野望が語られる

- ・過去編 ルシアスとエルドラのつながり

- ・フリードの過去話

- ・レイの里帰り ラクア到達前に故郷の島に帰り、長老からルシアスの話を聞く。

- ・ラクア到着 ラクアの秘密(生命力あふれる島)が判明

エルドラは不老不死を狙っている

- ・ラクアを巡り、フリードとエクスプローラーと対決

- ・リコの家出 フリードに会いに行く

- ・フリードに対して、人もポケモンも！ とバトルを通じて伝えるレイとリコ。

- ・フリードとの戦い レイとリコはフリードを圧倒する。

- ・エルドラとの最終決戦

以上